

## JIA 関東甲信越支部長活動報告

2012年11月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

JIA 建築家大会 2012 横浜が無事に閉幕しました。多数の皆様のご参加に感謝いたします。JIA は 4 月より新法人制度の公益社団法人として再出発します。今年の横浜大会は今までの全国大会とは一線を画し、協賛金（寄付）にほとんど頼らず会員の参加登録費やパーティー参加費で賄うという身の丈に合った大会運営を目指しました。大会参加者数が過去の大会の中でも非常に多い参加者数を数えられたのは、その趣旨にご賛同いただいた結果だと思います。準備を含めて 7 年間続いた国際大会と全国大会。2011 年 UIA 東京大会と 2012 年の JIA 全国大会の成功を支えた関東甲信越支部の会員全て一人一人に与えられた成果だと思います。そして横浜大会の成果が JIA 再出発への大きなステップになった、そんな大会であったと思います。これからは来年の新法人移行に備えた準備が本格化します。今後とも皆様のご協力のもと進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 支部長活動報告

- 1 日 国際委員会が開催される。横浜大会での「外に出よう！建築家」プログラムの当日役割について詳細を詰める。
- 2 日 横浜大会実施会議を開催する。参加登録状況を確認するが立ち上がりが遅い。20 日が WEB での登録締め切りだが細やかなプロモーションが必要だ。6 日、13 日、20 日に実施会議を開催し対応していくこととする。
- 6 日 横浜 BankART～開港記念会館で参加プロバイダーを集めて現地確認会を開催する。
- 7 日 大阪で JIA25 年賞の現地審査。
- 8 日 横浜開港記念会館にて神奈川県地域会賛助会セミナーに参加する。横浜大会の実行部隊として神奈川県地域会の正会員、賛助会員には大変ご苦勞をおかけしている。お礼とお願い並びに激励を兼ねて参加。
- 13 日 J-CABE タスクフォースが開催される。横浜大会で初日最初のプログラムとして 9 時半より開催される。大会での円卓会議の進行を確認する。横浜大会実施会議を開催する。前回と今回とで積み残しの課題はほぼ決定された。あとは参加登録者数の積み上げだ。

- 14日 神奈川県民ホールにて会場の担当者と細かい打合せを行う。ホテルニューグランドにてホテル営業担当者と細かい打合せを行う。1週間前には料理の数を決める必要がある。400名規模のパーティーだと事前に用意する必要があり、料理の追加はできない。20日の実施会議で検討し、22日には料理の数を決定する。
- 15日 会員増強特別委員会が開催される。新規入会者の増強、退会者の慰留の双方で運動していく必要がある。入会者に対するケアが足りないという意見が多く挙げられた。全国の新規入会者へのケアとしてフレッシュセミナーを本部で行うという提案が出された。本部理事会が開催される。本部支部運営費配分の見直しが議論される。今までは集まったお金を分配するという考えだったが、これから公益活動が増えて特に地域の活動が増えていく。単一会としてのJIA存在のための最低限の費用を算出し、単一会としてのガバナンス強化のため地方支部の事務局機能を強化させるため費用を配分する。個々の活動は地域で集めて地域の中でお金が回るようにしていく必要がある。
- 20日 横浜大会実施会議を開催する。今日の未明でWEB登録を終了することになっている。明日からのWEB登録を27日まで延長することにする。ただし、21日以降は期日後申込者とし、名札の印刷は間に合わないため当日自筆にて記名してもらうことにする。28日以降は当日扱いとする。クルーズツアーについては残念ながら参加者が最少催行人数に及ばなかったためキャンセルとなった。当日の細かい確認をする。東京地域連携会議に参加する。文京を初め、他会との連携活動が活発になっている。目黒から「目黒区三会協議会会則」を基に協議の呼びかけがある。防災のための連携だが、今後の展開として区との間で、団体として実体のない三会に契約行為が発生する可能性を懸念する。三団体の個人参加のNPOの方が良いという意見が出される。
- 21日 芦原会長を交え、会長の当日の動きを中心に打ち合わせをする。これから大会当日まで部会長同志が会う機会がないため、25日（日）にBankARTで実施会議を開催することにする。
- 26日 第2回地域サミットを新潟で開催する。地域会に関する規程類について地域会より出されている質疑への回答を中心に議論し、さらに地域会活動費の配分について意見交換を行う。夜はおいしい新潟の酒と新米と素晴らしい料理を堪能する。
- 25日 日曜日だが部会長が集まり実施会議を開催し現地を確認。川俣氏による会場の様子がやっと目に見えてきた。パーティー会場はガラスの木製建具で天井がおおわれている。しかもうねって低い場所が多々あり、舞台の設置場所に四苦八苦する。賛助会展示のベースも川俣氏に作品として作成いた

- だくことになっているが、まだどんなものができてくるのか不明。
- 28日 大会前日。夕刻より準備のため BankART に三々五々集まる。賛助会展示ベースがようやく見えた。
- 29日 29日は6つのセミナーが開催される。朝9時半より JCABE タスクフォース主催によるシンポジウムが開催され、円卓会議に参加する。午後からは理事懇談会～記者会見～ウェルカムパーティーと続く。
- 30日 30日は午後から式典、基調講演、レセプションパーティーが開催されるため6つのセミナーが午前中に集中する。午前中の賛助会サミットに参加する。全国から60名以上の参加者で会場は満席となり最後まで活発な議論が展開された。式典は来賓に協定相手国の各国代表者各国会長を壇上にお招きし荘厳な雰囲気で行われた。基調講演の田中優子氏による講演とそれに続く田中優子氏、山崎亮氏、芦原会長によるシンポジウムは田中氏による「足るを知る」社会提案と山崎氏による使う人のためのまち、建築、場の事例紹介を題材にテンポの速い議論が展開された。最後に芦原会長が JIA のこれからを述べてまとめられた。ホテルニューグランドを会場として、名誉会員や各国代表者を中心とした会長レセプションパーティーに始まり、歴史あるニューグランドの2つのバンケットであるローズルームとフェニックスルームとフォワイエを繋げて会場としたレセプションパーティーが開かれた。目標の人数には及ばなかったが、快適な雰囲気と美味しく十分な食事とお酒を満喫していただき、皆さんの楽しげな顔に一同喜びの乾杯をした。

